

取扱説明書

RadiForce® RX220

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップマニュアルを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社の Web サイトからダウンロードできます。
<http://www.eizo.co.jp>



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCI の技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

この製品を用いる装置を設計、使用する場合は、IEC60601-1-1 の規格要求に従ってください。

-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

Windows、Windows Vista、Windows Media、SQL Server、Xbox 360 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボードを使用しています。

VESA は Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

EIZO、EIZO ロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiForce、RadiCS、RadiNET、Raptor、ScreenManager は EIZO 株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

モニターについて

この製品は、MRIやCTなどの医用画像表示用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げても使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします。（次ページ「[クリーニングのしかた](#)」参照）

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットやパネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

もくじ

もくじ	5	第3章 モニターの設定をする	21
第1章 はじめに	6	3-1. モード選択の有効/無効を設定する [モード設定]	21
1-1. 特長	6	3-2. 操作スイッチをロックする [操作ロック]	21
1-2. 操作スイッチ名称	7	3-3. EIZO ロゴ表示を設定する [起動ロゴ]	22
1-3. ユーティリティディスクについて	7	3-4. 設置方向を設定する	22
● ディスクの内容と概要	7	● Image Rotation 機能を使用する [Image Rotation]	22
● 「RadiCS LE」または「ScreenManager Pro for Medical」を使用するときは	7	3-5. 表示言語を設定する [言語選択]	23
1-4. 基本操作と機能一覧	8	3-6. 調整メニューの表示位置を設定する [メニューポジション]	23
調整メニューの基本操作方法	8	3-7. お買い上げ時の設定に戻す	24
機能一覧	9	● カラー調整値をリセットする [カラーリセット]	24
第2章 画面を調整する	10	● すべての設定内容をリセットする [オールリセット]	24
2-1. 画像の解像度を設定する	10	第4章 省電力機能について	25
表示解像度	10	4-1. パワーセーブの設定をする [パワーセーブ]	25
解像度の設定方法	10	4-2. 電源ランプの表示を設定する [電源ランプ]	25
● Windows 8 / Windows 7 の場合	10	第5章 こんなときは	26
● Windows Vista の場合	10	第6章 ご参考に	29
● Windows XP の場合	10	6-1. アームを取り付ける	29
● Mac OS X の場合	11	6-2. 2台以上のコンピュータを接続する	30
2-2. 画面を正しく表示する	11	● 入力信号を切り替える	30
デジタル信号入力の場合	11	● 入力信号の切替方法を設定する [入力切替]	31
アナログ信号入力の場合	11	6-3. USB(Universal Serial Bus) の活用について	32
2-3. カラー調整をする	15	● 必要なシステム環境	32
● 表示モード (CAL Switch モード) を選ぶ	15	● 接続方法 (USB 機能のセットアップ方法)	32
● 詳細な調整をする	15	6-4. モニター情報を表示する	33
● 各モードの調整項目	16	● 信号情報を表示する [入力信号情報]	33
● ブライトネス (明るさ) を調整する [ブライトネ ス]	17	● モニター情報を表示する [モニター情報]	33
● コントラストを調整する [コントラスト]	17	6-5. 仕様	34
● 色温度を調整する [色温度]	17	6-6. 用語集	38
● ガンマを調整する [ガンマ]	18	6-7. プリセットタイミング	40
● 色合いを調整する [色合い]	18		
● 色の濃さを調整する [色の濃さ]	18		
● 輪郭補正をする [輪郭補正]	19		
● ゲインを調整する [ゲイン]	19		
● 6色調整をする [6色調整]	19		
2-4. 推奨解像度以外でご使用の場合	20		
● 表示サイズを切り替える [画面サイズ]	20		

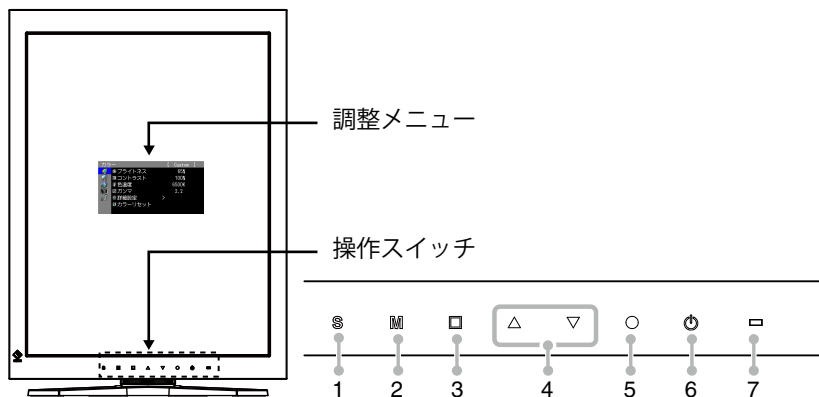
第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1 - 1. 特長

- 表示解像度：2M ピクセル（縦表示 1200 × 1600 ドット（H × V））
- DisplayPort 対応（8bit または 10bit に対応、音声は非対応）
- 3 系統信号入力搭載（DVI-I × 2、DisplayPort × 1）
- 最適なキャリブレーションモードを選択できる CAL Switch(キャルスイッチ) 機能搭載
2-3 表示モード（CAL Switch モード）を選ぶ（P.15）参照
- DICOM（P.39）Part 14 に準拠した画面選択が可能
- キャリブレーションが可能な品質管理ソフトウェア「RadiCS LE(Windows 用)」添付
1-3 ユーティリティディスクについて（P.7）参照
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「ScreenManager Pro for Medical（Windows 用）」添付
1-3 ユーティリティディスクについて（P.7）参照
- フレーム同期モード対応周波数：59 ～ 61Hz
- 著作権保護技術 HDCP 対応

1 - 2. 操作スイッチ名称



- | | |
|-----------|----------|
| 1. Sスイッチ | 5. ○スイッチ |
| 2. Mスイッチ | 6. ⏻スイッチ |
| 3. □スイッチ | 7. 電源ランプ |
| 4. Δ▽スイッチ | |

ランプ状態	動作状態
緑	画面表示
橙	省電力モード
消灯	主電源スイッチ / 電源スイッチオフ

1 - 3. ユーティリティディスクについて

本機には「EIZO LCD ユーティリティディスク」(CD-ROM) が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は、下記を参照してください。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt を参照してください。

内容	概要
Readmeja.txt ファイル	
RadiCS LE (Windows 用)	キャリブレーションをおこない、履歴管理が可能な品質管理ソフトウェアです。(USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。) 後述参照
ScreenManager Pro for Medical (Windows 用)	モニターの調整をマウスとキーボードを使ってコンピュータからコントロールするユーティリティです。(USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。) 後述参照
取扱説明書 (PDF ファイル)	

● 「RadiCS LE」または「ScreenManager Pro for Medical」を使用するときは

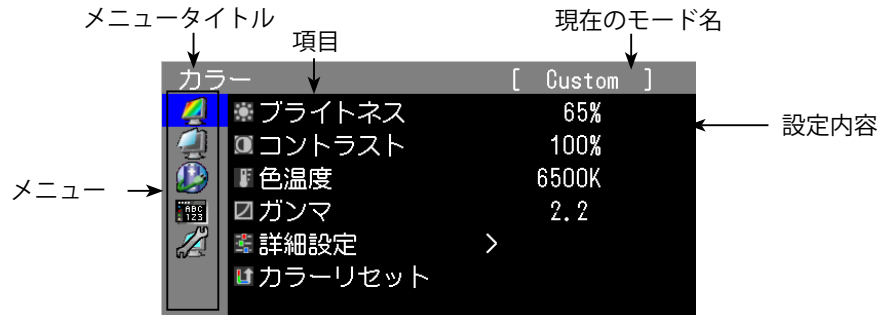
インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続してください。詳細は、「6-3 USB(Universal Serial Bus) の活用について」(P.32 参照) を参照してください。

1 - 4. 基本操作と機能一覧

調整メニューの基本操作方法

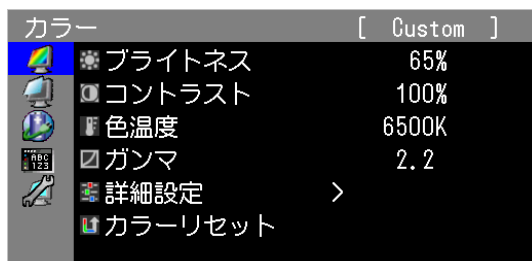
1 調整メニューの表示

○を押し、調整メニューを表示します。

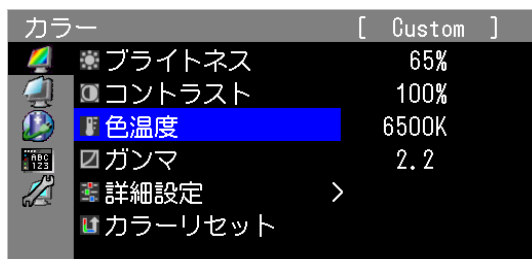


2 調整 / 設定

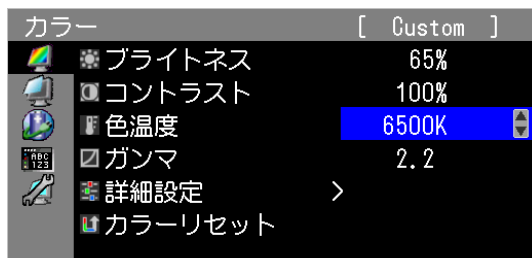
1. △▽で、調整 / 設定したいメニューを選択し、○を押します。



2. △▽で、調整 / 設定したい項目を選択し、○を押します。



3. △▽で、調整 / 設定し、○を押して確定します。



3 終了

□を数回押すと、メニューを終了します。

機能一覧

調整メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目	調整 / 設定内容
カラー 	 ブライツネス	「2-3. カラー調整をする」(P.15)
	 コントラスト	
	 色温度	
	 ガンマ	
	 詳細設定  色合い	
	 色の濃さ  輪郭補正  ゲイン  6色調整	
	 カラーリセット	「3-7 お買い上げ時の設定に戻す」(P.24)
スクリーン 	 画面サイズ	「2-4 推奨解像度以外で使用の場合」(P.20)
	 画像回転	「3-4 設置方向を設定する」(P.22)
	 アナログ調整  自動調整	「2-2. 画面を正しく表示する」(P.11)
	 レンジ調整	
	 クロック	
	 フェーズ	
	 水平ポジション	
 垂直ポジション		
PowerManager 	 パワーセーブ	「4-1. パワーセーブの設定をする」(P.25)
	 電源ランプ	「4-2. 電源ランプの表示を設定する」(P.25)
メニュー設定 	 言語選択	「3-5 表示言語を設定する」(P.23)
	 メニューポジション	「3-6. 調整メニューの表示位置を設定する」(P.23)
ツール 	 入力切替	「6-2.2 台以上のコンピュータを接続する」(P.30)
	 モード設定	「3-1. モード選択の有効 / 無効を設定する」(P.21)
	 入力信号情報	「6-4. モニター情報を表示する」(P.33)
	 モニター情報	
	 オールリセット	「3-7 お買い上げ時の設定に戻す」(P.24)

※<カラー>メニューで調整 / 設定できる機能はモード (P.16) により異なります。表は Custom モードの場合の項目です。(「2-3. カラー調整をする」(P.15) 参照)

第2章 画面を調整する

2 - 1. 画像の解像度を設定する

表示解像度

本機の対応解像度については、セットアップマニュアル「表示解像度について」を参照してください。

解像度の設定方法

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● Windows 8 / Windows 7 の場合

1. Windows 8 の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログが表示されるので、[変更を維持する] ボタンをクリックします。

● Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

● Windows XP の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

● Mac OS X の場合

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2 - 2. 画面を正しく表示する

デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、詳細な調整をおこなう場合は「2 - 3 カラー調整をする (P.15)」以降を参照してください。

アナログ信号入力の場合

注意点

- ・ 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。
(内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。)

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

- 以下の条件を全て満たした場合にセルフアジャスト機能（自動画面調整機能）が働きます。
- ・ モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことの無い解像度や垂直周波数、水平周波数に変更した場合
 - ・ 垂直解像度が480を超える信号を入力している場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、以下の調整手順に従って画面の調整をしてください。

[調整手順]

1 自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する [自動調整]

調整方法

1. 調整メニューの<スクリーン>メニューを選択し、○を押します。
2. <スクリーン>メニューで<アナログ調整>を選択し、○を押します。
3. <自動調整>を選択して、○を押します。

自動調整機能が働き（「実行中」とメッセージが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して○を押します。

注意点

- この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

1の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、**手順5**の「色階調を自動調整する [レンジ調整]」にお進みください。

2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

当社の Web サイト (<http://www.eizo.co.jp>) から「画面調整パターン集」をダウンロードしてください。

参考

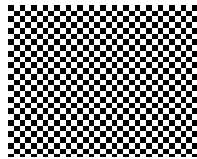
- 画面調整パターン集の開きかたおよび内容については、ダウンロードした Readmeja.txt ファイル を参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する [自動調整]

調整方法

1. 画面調整パターン集を使用して、パターン1を全画面に表示します。



2. 調整メニューの<スクリーン>メニューを選択し、○を押します。
3. <スクリーン>メニューで<アナログ調整>を選択し、○を押します。
以降の調整は<スクリーン>メニューの<アナログ調整>内の項目を選択しておこないます。
4. <自動調整>を選択して、○を押します。
自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。
自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して○を押します。

3の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、**手順5**の「色階調を自動調整する [レンジ調整]」にお進みください。

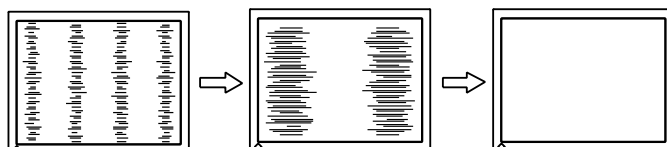
4 <スクリーン>メニューの<アナログ調整>で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す [クロック]

調整方法

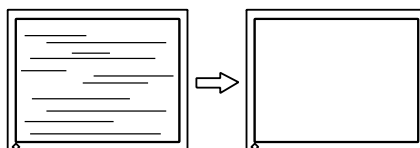
1. <アナログ調整>メニューで<クロック>を選択し、○ を押します。
2. △ または ▽ で縦縞が消えるように調整します。
調整が合ったポイントを見逃しやすいので△ ▽をゆっくり押して調整するようにしてください。
3. 調整が完了したら○ を押します。
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる [フェーズ]」にすすみ調整をおこなってください。



● ちらつきやにじみをとる [フェーズ]

調整方法

1. <アナログ調整>メニューで<フェーズ>を選択し、○ を押します。
2. △ または ▽ で最もちらつきやにじみのない画面に調整します。
3. 調整が完了したら○ を押します。



注意点

・お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。

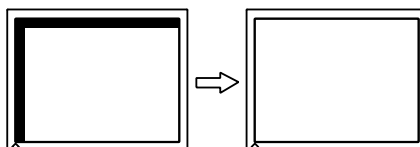
● 表示位置のずれを直す [水平ポジション] [垂直ポジション]

参考

・液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. <アナログ調整>メニューで<水平ポジション>または<垂直ポジション>を選択し、○ を押します。
2. 画像の位置が合うように △ または ▽ で調整します。
3. 調整が完了したら○ を押します。



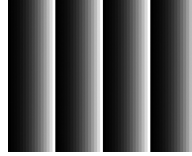
5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する [レンジ調整]

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整できます。

調整方法

1. 画面調整パターン集を使用して、パターン 2 を全画面に表示します。



2. <アナログ調整>メニューで<レンジ調整>を選択し、○を押します。
色階調が自動的に調整されます。
自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して○を押します。
3. パターン 2 を閉じます。

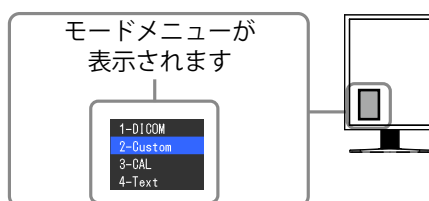
2 - 3. カラー調整をする

● 表示モード（CAL Switch モード）を選ぶ

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

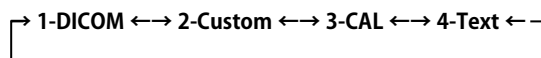
モードの種類

モード	用途
1-DICOM	DICOM で表示したい場合に選択します。
2-Custom	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
3-CAL	キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示します。
4-Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。



設定方法

1. **M** を押します。
モードメニューが画面左下に表示されます。
2. **M** を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。
モードメニュー表示中は、**△** または **▽** でモードを切り替えることもできます。



参考

- 調整メニューとモードメニューを同時に表示させることはできません。
- 特定のモードを選択できないようにすることができます。詳細は「3-1. モード選択の有効/無効を設定する」(P.21)を参照してください。

● 詳細な調整をする

調整メニューの<カラー>メニューで、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。
(内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。)
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください。(「色階調を自動調整する」P.14参照)
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。








● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。(調整/設定できない機能は選択できません)

各モードの調整/設定内容はすべての入力信号に対して適用されます。

各機能の調整方法については、次ページ以降を参照してください。

○：調整可 —：調整不可

アイコン	機能名	CAL Switch モード			
		1-DICOM [※]	2-Custom [※]	3-CAL [※]	4-Text
	ブライトネス	○	○	○	○
	コントラスト	—	○	—	○
	色温度	—	○	—	○
	ガンマ	—	○	—	○
	色合い	—	○	—	○
	色の濃さ	—	○	—	○
	輪郭補正	—	○	—	○
	ゲイン	—	○	—	—
	6色調整	—	○	—	—
	カラーリセット	○	○	○	○

※本機専用のキャリブレーションキット (RadiCS LE / オプション [P.37 参照](#)) を使用して、このモードでキャリブレーションをおこなった場合、調整項目はブライトネスとリセットのみになります。

● ブライツネス（明るさ）を調整する [ブライツネス]

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。
調整範囲：0～100%

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
2. <カラー>メニューで<ブライツネス>を選択し、○を押します。
3. △ または ▽ で調整します。
4. 調整が完了したら○を押します。

参考

- ・△▽スイッチで調整することもできます。
- ・ブライツネスが0%でも画面が明るいと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。

● コントラストを調整する [コントラスト]

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。
調整範囲：0～100%

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
2. <カラー>メニューで<コントラスト>を選択し、○を押します。
3. △ または ▽ で調整します。
4. 調整が完了したら○を押します。

参考

- ・100% で全ての色階調を表示します。
- ・画面の明るさは、はじめに、階調特性を損なうことのないブライツネスで調整することをおすすめします。
- ・コントラスト調整は以下のような場合に使用してください。
 - ブライツネスが0%でも画面が明るいと感じた時（コントラストを100%以下に設定します）

● 色温度を調整する [色温度]

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K:Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

調整範囲：Native、6000K～15000K（500K単位、9300K含む）

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
2. <カラー>メニューで<色温度>を選択し、○を押します。
3. △ または ▽ で調整します。
4. 調整が完了したら○を押します。

参考

- ・[ゲイン]でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する [ゲイン]」 P.19 参照）。
- ・「Native」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
- ・ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

● ガンマを調整する [ガンマ]

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

調整範囲：1.8～2.6

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
2. <カラー>メニューで<ガンマ>を選択し、○を押します。
3. △ または▽ で調整します。
4. 調整が完了したら○を押します。

● 色合いを調整する [色合い]

色合いを調整します。

調整範囲：-100～100

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、○を押します。
3. <色合い>を選択し、○を押します。
4. △ または▽ で調整します。
5. 調整が完了したら○を押します。

注意点

- ・ 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

● 色の濃さを調整する [色の濃さ]

色の濃さを調整します。

調整範囲：-100～100

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、○を押します。
3. <色の濃さ>を選択し、○を押します。
4. △ または▽ で調整します。
5. 調整が完了したら○を押します。

注意点

- ・ 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

参考

- ・ 最小値 (-100) で白黒の画面となります。
-

● 輪郭補正をする [輪郭補正]

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、○を押します。
3. <輪郭補正>を選択し、○を押します。
4. △ または ▽ で、表示状態を -3 ~ 3 (ソフト ~ シャープ) の範囲から好みに応じて選択します。
5. 調整が完了したら○を押します。

● ゲインを調整する [ゲイン]

色を構成する赤・緑・青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」(各色の入力信号が最大するとき)の色調を変更することができます。

調整範囲：0 ~ 100%

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、○を押します。
3. <ゲイン>を選択し、○を押します。
4. <Red>、<Green>、<Blue>の中から調整する色を選択し、を押します。
5. △ または ▽ で調整します。
6. 調整が完了したら○を押します。

参考

- ・ 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
 - ・ ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-

● 6色調整をする [6色調整]

Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blueの色合いおよび色の濃さを個別に調整します。
調整範囲：-100 ~ 100

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、○を押します。
3. <6色調整>を選択し、○を押します。
4. <Magenta>、<Red>、<Yellow>、<Green>、<Cyan>、<Blue>の中から調整する色を選択し、を押します。
5. <色合い>または<色の濃さ>を選択し、○を押します。
6. △ または ▽ で調整します。
7. 調整が完了したら○を押します。

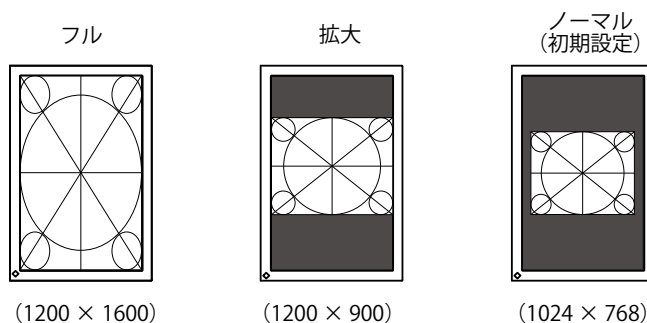
2 - 4. 推奨解像度以外でご利用の場合

● 表示サイズを切り替える [画面サイズ]

<スクリーン>メニューの<画面サイズ>機能を使用して表示サイズを切替えることができます。

メニュー	機能
フル	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル (初期設定)	設定した解像度のままの大きさに画像が表示されます。

例：1024 × 768 を表示した場合



設定方法

1. 調整メニューの<スクリーン>メニューを選択し、○を押します。
2. <スクリーン>メニューで<画面サイズ>を選択し、○を押します。
3. △ または ▽ で「フル」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら○を押します。

第3章 モニターの設定をする

3 - 1. モード選択の有効 / 無効を設定する [モード設定]

モードを選択するときに、設定したモードだけを選択することができます。
表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、○ を押します。
2. <ツール>メニューで<モード設定>を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で設定を変更するモードを選択し、○ を押します。
4. △ または ▽ で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら○ を押します。

注意点

• すべてのモードを無効にすることはできません。1つ以上のモードを「オン」に設定してください。

3 - 2. 操作スイッチをロックする [操作ロック]

調整 / 設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. M を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
オプション設定メニューが表示されます。
3. <オプション設定>メニューより<操作ロック>を選択し、○ を押します。
4. △ または ▽ で「オフ」/「メニュー」/「オール」のいずれかを選択し、○ を押します。

設定項目	ロックできるスイッチ
オフ (初期設定)	なし (全てのスイッチが有効)
メニュー	○ スイッチ △ ▽ スイッチ
オール	⏻ スイッチを除く全てのスイッチ

5. △ または ▽ で「完了」を選択します。
6. ○ を押します。
オプション設定メニューが閉じます。

3 - 3. EIZO ロゴ表示を設定する [起動ロゴ]

EIZO ロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。

設定方法

1. **⏻** を押して、モニターの電源を切ります。
2. **M** を押しながら **⏻** を 2 秒以上押してモニターの電源を入れます。
オプション設定メニューが表示されます。
3. <オプション設定>メニューより<起動ロゴ>を選択し、**○** を押します。
4. **△** または **▽** で「オン」または「オフ」を選択し、**○** を押します。
5. **△** または **▽** で「完了」を選択します。
6. **○** を押します。
オプション設定メニューが閉じます。

3 - 4. 設置方向を設定する

● Image Rotation 機能を使用する [Image Rotation]

Image Rotation は、パネル部の回転にともなって画像の表示方向を変更させる機能です。

(初期設定：オン)

注意

- ・ パネル部を回転させてから画像が表示されるまでに、時間がかかる場合があります。
- ・ 使用するグラフィックカードおよび OS によっては正常に表示されない場合があります。
- ・ デュアルモニターで Image Rotation 機能を実行すると、どちらかのモニターの表示が消えることがあります。その場合は、「画面のプロパティ」で消えた方の画面を再表示させてください (Windows のみ)。

設定方法

1. 調整メニューの<スクリーン>メニューを選択し、**○** を押します。
2. <スクリーン>メニューで<画像回転>を選択し、**○** を押します。
3. **△** または **▽** で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら **○** を押します。

実行方法

1. モニターのパネル部を 90° 回転させます。
<画像回転>機能が初期設定では「オン」になっていますので、パネル部の設置方向にあわせた画像が表示されます。
2. 表示画像が伸縮している場合は、コンピュータを再起動します。
使用するグラフィックカードおよび OS によっては正常に表示されない場合があります。再起動後も表示画像が伸縮している場合は、コンピュータの画面解像度の設定を変更してみてください。

3 - 5. 表示言語を設定する [言語選択]

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 日本語 / 中国語 (簡体) / 中国語 (繁体)

設定方法

1. 調整メニューの<メニュー設定>メニューを選択し、○ を押します。
2. <メニュー設定>メニューで<言語選択>を選択し、○ を押します。
3. △ または▽ で言語を選択します。
4. 設定が完了したら○ を押します。

3-6. 調整メニューの表示位置を設定する [メニューポジション]

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの<メニュー設定>メニューを選択し、○ を押します。
2. <メニュー設定>メニューで<メニューポジション>を選択し、○ を押します。
3. △ または▽ で位置を選択します。
4. 設定が完了したら○ を押します。

3 - 7. お買い上げ時の設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを工場出荷状態に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を工場出荷状態に戻すオールリセットの2種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定（工場出荷設定）値」をご覧ください。

● カラー調整値をリセットする [カラーリセット]

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期状態（工場出荷状態）に戻します。

設定方法

- 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、○を押します。
- <カラー>メニューで<カラーリセット>を選択し、○を押します。
- △ または ▽ で「実行」を選択します。
- を押します。

カラー調整値が初期状態になります。

● すべての設定内容をリセットする [オールリセット]

すべての設定内容を初期状態（工場出荷状態）に戻します。

設定方法

- 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、○を押します。
- <ツール>メニューで<オールリセット>を選択し、○を押します。
- △ または ▽ で「実行」を選択します。
- を押します。

すべての設定内容が初期状態になります。

第4章 省電力機能について

4 - 1. パワーセーブの設定をする [パワーセーブ]

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- ・ 主電源スイッチをオフにするか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ・ モニターが省電力モードの場合、またモニターの電源スイッチをオフにしても、USBポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。

各信号入力に対し、以下の規格に準拠しています。

信号入力		規格
アナログ信号		VESA DPMS
デジタル信号	DVI	DVI DMPM
	DisplayPort	DisplayPort Standard V1.1a

設定方法

1. 調整メニューの< PowerManager >メニューを選択し、○ を押します。
2. < PowerManager >メニューで< パワーセーブ >を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら○ を押します。

省電力の流れ

コンピュータの設定に連動し省電力モードに入ります。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	緑
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

4 - 2. 電源ランプの表示を設定する [電源ランプ]

画面表示時の電源ランプ（緑）の輝度を設定することができます（初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯し、4に設定されています）。



設定方法

1. 調整メニューの< PowerManager >メニューを選択し、○ を押します。
2. < PowerManager >メニューで< 電源ランプ >を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で電源ランプの明るさを「オフ」または1～7の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら○ を押します。

第5章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店または EIZO サポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状（デジタル信号の場合） → 項目 3～8 を参照してください。
- 画面に関する症状（アナログ信号の場合） → 項目 3～12 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 13～16 を参照してください。

症 状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> • 電源ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードは正しく差し込まれていますか。 • 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • 主電源スイッチをオンにしてください。 • ⏻ を押してください。
<ul style="list-style-type: none"> • 電源ランプが点灯：緑色 	<ul style="list-style-type: none"> • <ブライツネス>、<コントラスト>、<ゲイン>の各調整値を上げてみてください（P.17、P.19 参照）。
<ul style="list-style-type: none"> • 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> • S で入力信号を切り替えてみてください。 • マウス、キーボードを操作してみてください。 • コンピュータの電源は入っていますか。
2. 以下のようなメッセージが表示される	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 信号が入力されていない場合の表示です。 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータによっては電源オン時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 • コンピュータの電源は入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 • S で入力信号を切り替えてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> • 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です（範囲外の周波数は赤色で表示されます）。 • 例： 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか。（セットアップマニュアル「表示解像度について」参照） • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。 <p>fD：ドットクロック （デジタル信号入力時のみ表示されます）</p> <p>fH：水平周波数 fV：垂直周波数</p>
3. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> • <ブライツネス>、<コントラスト>を調整してください（LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZO サポートにご相談ください）。
4. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか。（セットアップマニュアル「表示解像度について」参照） • <輪郭補正>で調整してみてください（P.19 参照）。

症 状	原因と対処方法
5. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
6. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
7. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
8. 画面にノイズがあらわれる	<ul style="list-style-type: none"> HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
9. 画像がずれている	<ul style="list-style-type: none"> ＜水平ポジション＞または＜垂直ポジション＞で画像の位置を合わせてください (P.13 参照)。 グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
10. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	<ul style="list-style-type: none"> ＜クロック＞で調整してみてください (P.13 参照)。
11. 画面全体がちらつく、にじむように見える	<ul style="list-style-type: none"> ＜フェーズ＞で調整してみてください (P.13 参照)。
12. 画面の上部が下図のように歪む	<ul style="list-style-type: none"> コンポジットシンク (X-OR) の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
13. 調整メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作スイッチのロックが機能していないか確認してみてください (P.21 参照)。
14. モードメニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作スイッチのロックが機能していないか確認してみてください (P.21 参照)。
15. 自動調整機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 この機能は Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

症 状	原因と対処方法
<p>16. USB ケーブルで接続したモニターが認識されない／モニターに接続している USB 周辺機器が動作しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。(P.32 参照) • 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、EIZO サポートにご相談ください (詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください)。 • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お買い求めの販売店または EIZO サポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください (各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください)。 • Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください (詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください)。

第 6 章 ご参考に

6 - 1. アームを取り付ける

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは他のスタンド）に取り付けることが可能になります。アームまたはスタンドは当社オプション品をご利用ください。

注意点

- ・ 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- ・ 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものをお選びください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- ・ アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上 45° 下 45°（横表示時、および時計回り 90° に縦表示時）
- ・ ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- ・ 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- ・ モニターおよびアームは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因となります。

[取付方法]

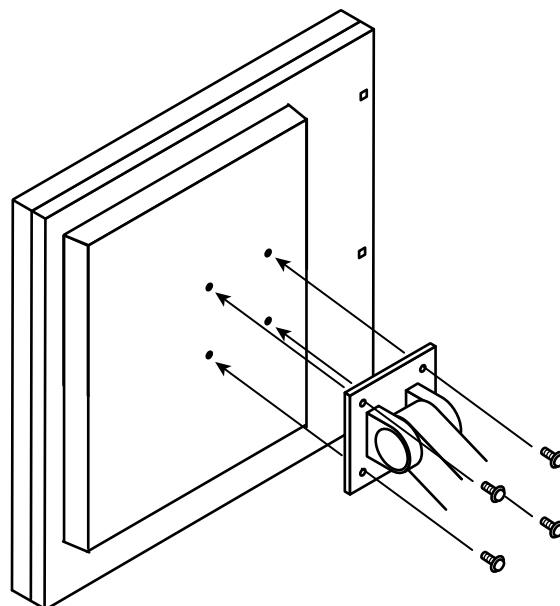
1 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2 スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ 4 箇所を取り外します。

3 モニターをアームまたはスタンドに取り付けます。

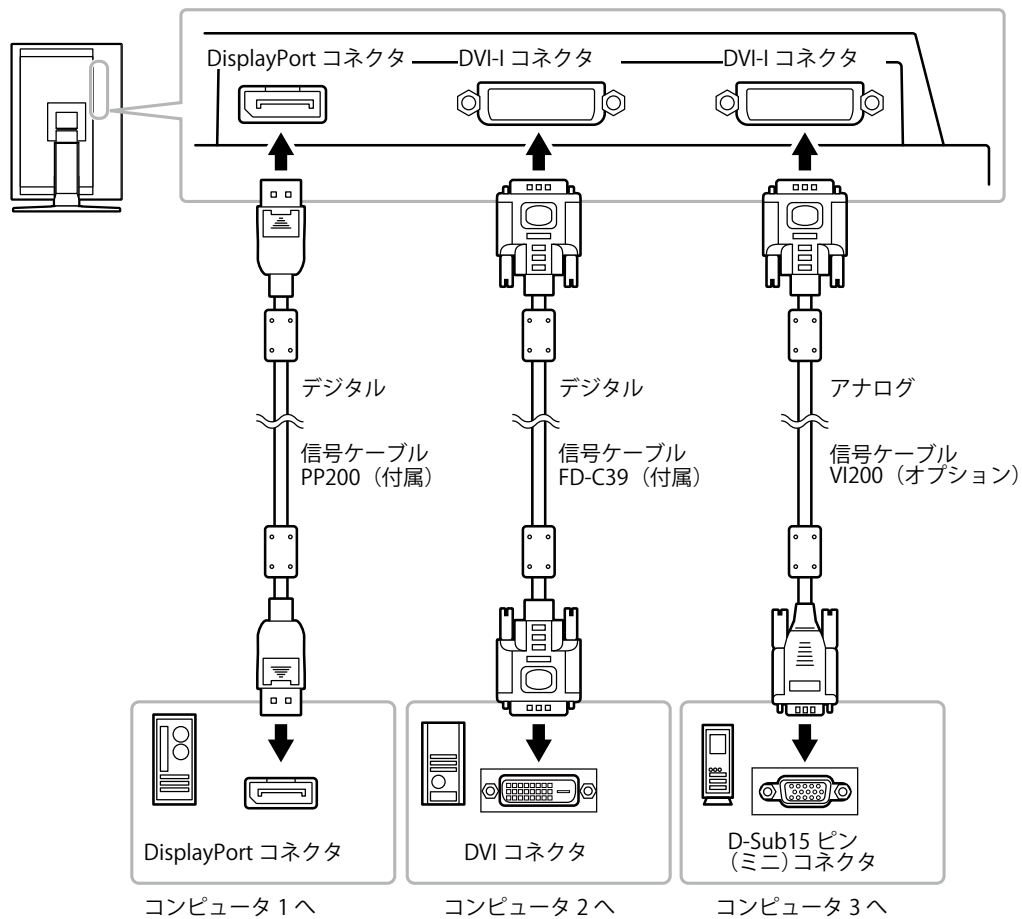
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



6 - 2.2 台以上のコンピュータを接続する

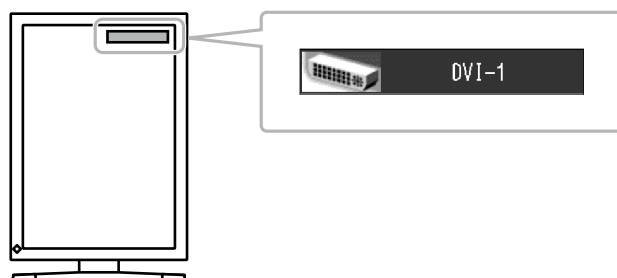
本機は、背面の DVI-I、DisplayPort コネクタに 2 台以上のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



● 入力信号を切り替える

s を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する [入力切替]

コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。

優先設定	機 能
オート	コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作スイッチの S で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、○を押します。
2. <ツール>メニューで<入力切替>を選択し、○を押します。
<入力切替>メニューが表示されます。
3. △ または ▽ で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら○を押します。

注意点

- 「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

6 - 3. USB(Universal Serial Bus) の活用について

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

● 必要なシステム環境

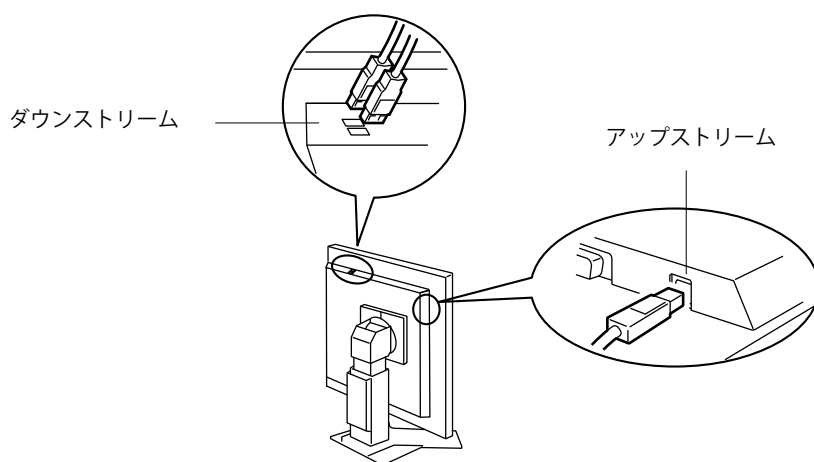
1. USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
2. Windows 2000/XP/Vista/7/8 または Mac OS 9.2.2 および Mac OS X 10.2 以降
3. EIZO USB ケーブル (MD-C93)

注意点

- 使用するコンピュータ、OS および周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源スイッチがオフの場合、USB ポート (アップストリームおよびダウンストリーム) に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチがオフの場合は、USB ポートに接続されている機器は動作しません。

● 接続方法 (USB 機能のセットアップ方法)

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
2. USB 対応のコンピュータ (あるいは他の USB ハブ) のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。
USB ケーブルの接続により自動的に USB のハブ機能がセットアップされます。
3. USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート (ダウンストリーム) に接続します。



6 - 4. モニター情報を表示する

● 信号情報を表示する [入力信号情報]

現在表示している入力信号の情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、○ を押します。
2. <ツール>メニューで<入力信号情報>を選択し、○ を押します。
信号情報画面が表示されます。

(例)

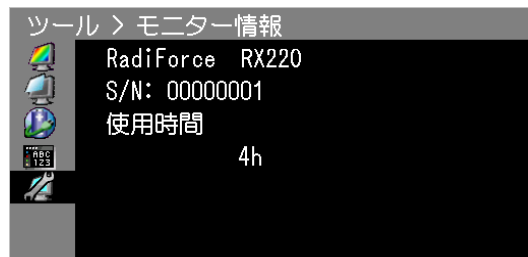


● モニター情報を表示する [モニター情報]

本機に関する情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、○ を押します。
2. <ツール>メニューで<モニター情報>を選択し、○ を押します。
モニター情報画面が表示されます。



注意点

- 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

6 - 5.仕様

液晶パネル	サイズ	54cm (21.3) 型 カラー TFT
	表面処理	アンチグレア
	表面硬度	2H
	視野角	視野角：左右 170°、上下 170° (CR ≥ 10)
	ドットピッチ	0.270mm
	応答速度	約 17ms
水平走査周波数	アナログ	31 ~ 100kHz
	デジタル	31 ~ 100kHz
垂直走査周波数	アナログ	49 ~ 86Hz (1600 × 1200 時：49 ~ 60Hz)
	デジタル	59 ~ 61Hz (VGA TEXT 時：69 ~ 71Hz)
解像度		2M ピクセル (縦型設置時 1200 x 1600 ドット (H × V))
ドットクロック (最大)	アナログ	170MHz
	デジタル	164.5MHz
最大表示色		約 10 億 7374 万色 (DisplayPort 10bit 入力時)
推奨輝度		400cd/m ² 色温度：7500K 時
表示サイズ (水平×垂直)		432.0mm × 324.0mm
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、1.2 A
消費電力	画面表示時	120 W 以下 (USB 機器接続時) 110 W 以下 (USB 機器非接続時)
	省電力モード時	0.9 W 以下 (DVI-I (アナログ) 1 系統入力時、USB 機器非接続時、 [入力信号]：「マニュアル」設定時)
	電源スイッチオフ時	0.7 W 以下 (USB 機器非接続時)
	主電源スイッチオフ時	0W
信号入力コネクタ		DVI-I コネクタ (HDCP 対応) × 2
		DisplayPort コネクタ (Standard V1.1a 準拠、HDCP 対応)
アナログ信号 入力同期信号		セパレート、TTL、正 / 負極性 コンポジット、TTL、正 / 負極性
アナログ信号 入力映像信号		アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75 Ω)
デジタル (DVI) 信号伝送方式		TMDS (Single Link)
ビデオ信号 メモリー (最大)	アナログ	45 種 (プリセット 24 種)
プラグ&プレイ機能		アナログ / デジタル (DVI-I) 信号入力時：VESA DDC 2B/EDID structure 1.3 デジタル (DisplayPort) 信号入力時：VESA DisplayPort/EDID structure 1.4
寸法	本体	376mm (幅) × 522.5 ~ 604.5mm (高さ) × 208.5mm (奥行き)
	本体 (スタンドなし)	376mm (幅) × 500mm (高さ) × 95mm (奥行き)
質量	本体	約 10.4kg
	本体 (スタンドなし)	約 7.4kg
可動範囲	ハイトアジャスタブル スタンド	チルト角度：上 40° 下 0° スイーベル角度：右 35° 左 35° 昇降：82mm ローテーション：90° (時計回り)

環境条件	温度	動作温度範囲：0℃～35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～60℃
	湿度	動作湿度範囲：20%～80% R.H. (非結露状態) 輸送および保存湿度範囲：10%～80% R.H. (非結露状態)
	気圧	動作気圧範囲：700hPa～1060hPa 輸送および保存気圧範囲：200hPa～1060hPa
USB	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2
	通信速度	480Mbps (ハイスピード)、12Mbps (フルスピード)、 1.5Mbps (ロースピード)
	供給電源	ダウンストリーム：最大500mA/1ポート

主な初期設定（工場出荷設定）値

CAL Switch モード：工場出荷時の表示設定は 1-DICOM モードです。

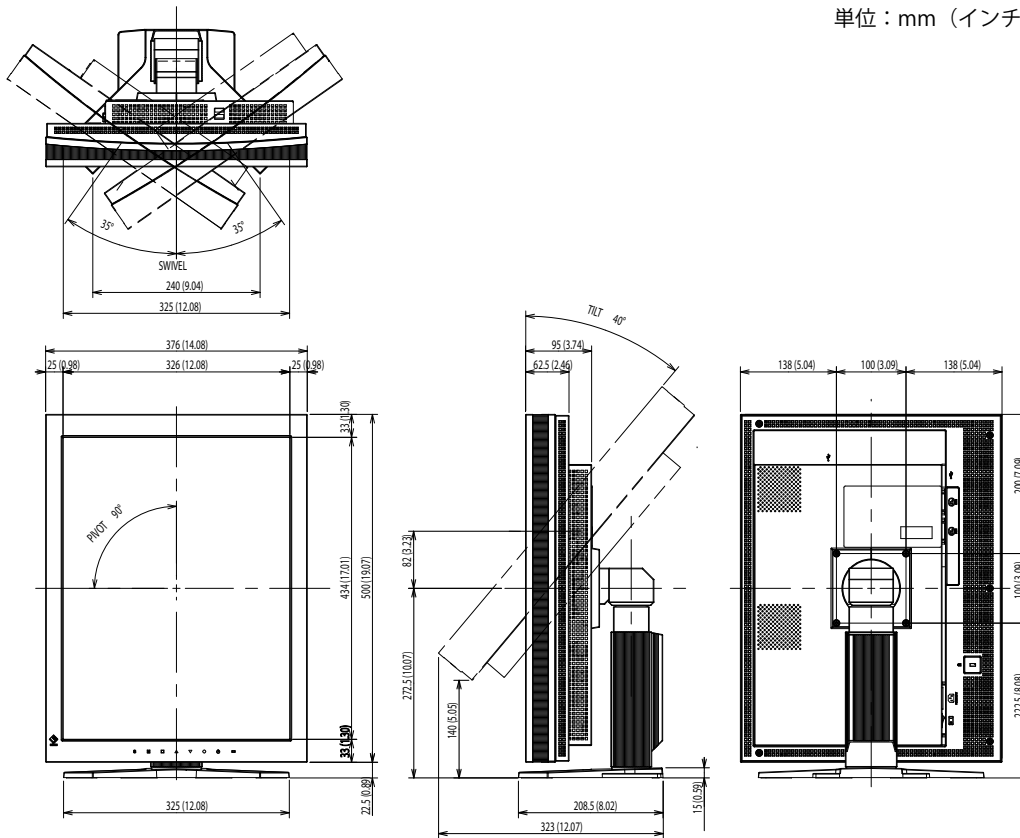
	輝度（ブライトネス）	色温度	ガンマ値
1-DICOM	400 cd/m ²	7500K	DICOM
2-Custom	約 900 cd/m ²	7500K	2.2
3-CAL	400 cd/m ²	7500K	DICOM
4-Text	約 100 cd/m ²	7500K	2.2

その他

パワーセーブ	オン
入力切替	オート
画面サイズ	ノーマル
輪郭補正	0
起動ロゴ	オフ
メニューポジション	中央
言語選択	日本語

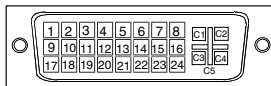
外観寸法

単位：mm（インチ）



入力信号接続

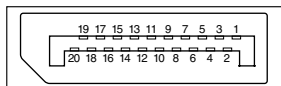
- DVI-I コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	T.M.D.S. Data 2-	11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	21	NC*
2	T.M.D.S. Data 2+	12	NC*	22	T.M.D.S. Clock shield
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield	13	NC*	23	T.M.D.S. Clock+
4	NC*	14	+5V Power	24	T.M.D.S. Clock-
5	NC*	15	Ground (return for +5V, Hsync, and Vsync)	C1	Analog Red
6	DDC Clock (SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data (SDA)	17	T.M.D.S. Data0-	C3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	T.M.D.S. Data0+	C4	Analog Horizontal Sync
9	T.M.D.S. Data1-	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield	C5	Analog Ground(analog R,G,&B return)
10	T.M.D.S. Data1+	20	NC*		

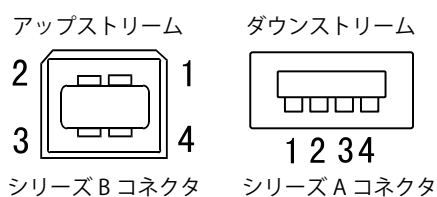
(NC*: No Connection)

• DisplayPort コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	ML Lane3-	8	Ground	15	AUX CH+
2	Ground	9	ML Lane1+	16	Ground
3	ML Lane3+	10	ML Lane0-	17	AUX CH-
4	ML Lane2-	11	Ground	18	Hot Plug Detect
5	Ground	12	ML Lane0+	19	Return
6	ML Lane2+	13	CONFIG1	20	DP PWR
7	ML Lane1-	14	CONFIG2		

• USB ポート



接点番号	信号名	備考
1	VCC	ケーブル電源
2	- Data	シリアルデータ
3	+ Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグランド

別売オプション品

キャリブレーションキット	EIZO 「RadiCS UX1」 Ver.3.4.0 以降
ネットワーク QC 管理ソフトウェア	EIZO 「RadiNET Pro」 Ver.3.4.0 以降 EIZO 「RadiNET Pro Lite」 Ver.3.4.0 以降
クリーニングキット	EIZO 「ScreenCleaner」

オプション品に関する最新情報および最新の対応グラフィックスボード情報は、当社の Web サイトを参照してください。

<http://www.eizo.co.jp>

6 - 6. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：暖色で紙色に近い白色

9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横 1200 個、縦 1600 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため 1200 × 1600（縦型設置時）、1600 × 1200（横型設置時）の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

アナログ信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DICOM (Digital Imaging and Communication in Medicine)

米国放射線学会 (American College of Radiology) と北米電子機器工業会 (National Electric Manufacturers Association) が開発した医用画像と通信の標準規格です。DICOM に準拠した機器を相互接続することにより、画像検査情報や画像データの伝送が可能になります。DICOM Part 14 は DICOM 規格の中でデジタル医用画像の視覚的解釈を統一し、グレースケールイメージの表示について規格化したものです。

DisplayPort

パソコンや音響、映像機器などをモニターに接続する次世代デジタル AV インターフェースです。1 本のケーブルで映像とともに音声も伝送できます。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON (オペレーションモード) と Active Off (省電力モード) が必須となっています。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS (Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ (グラフィックボード) 側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

6 - 7. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

注意点

- ・ 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- ・ 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- ・ インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

解像度	対応信号	周波数			極 性	
		ドット クロック： MHz	水平：kHz	垂直：Hz	水平	垂直
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09	負	正
640 × 480	VGA	25.18	31.47	59.94	負	負
640 × 480	VESA	31.50	37.86	72.81	負	負
640 × 480	VESA	31.50	37.50	75.00	負	負
640 × 480	VESA	36.00	43.27	85.01	負	負
800 × 600	VESA	36.00	35.16	56.25	正	正
800 × 600	VESA	40.00	37.88	60.32	正	正
800 × 600	VESA	50.00	48.08	72.19	正	正
800 × 600	VESA	49.50	46.88	75.00	正	正
800 × 600	VESA	56.25	53.67	85.06	正	正
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00	負	負
1024 × 768	VESA	75.00	56.48	70.07	負	負
1024 × 768	VESA	78.75	60.02	75.03	正	正
1024 × 768	VESA	94.50	68.68	85.00	正	正
1152 × 864	VESA	108.00	67.50	75.00	正	正
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00	正	正
1280 × 1024	VESA	108.00	63.98	60.02	正	正
1280 × 1024	VESA	135.00	79.98	75.03	正	正
1280 × 1024	VESA	157.50	91.15	85.03	正	正
1600 × 1200	VESA	161.99	75.00	60.00	正	正
1152 × 900	WS	94.20	61.97	66.14	負	負
1152 × 900	WS	107.50	71.86	76.20	負	負
1280 × 1024	WS	117.00	71.69	67.19	負	負
1200 × 1600	縦型表示	162.25	99.42	59.96	負	正

关于电子信息产品污染控制标识



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	×	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
(企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明)

